

北海道地方における気候変動を踏まえた 治水対策技術検討会（第2回）を開催します

北海道開発局及び北海道は、平成28年に甚大な被害が生じた河川を対象とし、気候予測アンサンブルデータを活用^{*}して、気候変動を踏まえた適応策等を検討するため、「北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策技術検討会（第2回）」を下記のとおり開催します。

北海道地方においては、平成28年8月の大雨により甚大な被害が発生するなど、近年、洪水被害が頻発しています。頻発する洪水被害に対し、北海道開発局と北海道は連携して、現時点の科学技術として最新かつ最善と考えられる、これまでの気候及び今後予測される気候に係る気候予測アンサンブルデータを取りまとめ、気候変動に伴うリスク評価を進めてきたところです。

これらの検討を踏まえて、「北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策技術検討会」を設置し、「気候予測アンサンブルデータを活用した適応策」及び「気候変動を踏まえた当面の治水適応策に係る目標設定の考え方」に関する技術的な検討等を行うこととしています。このたび、第2回の検討会を下記のとおり開催しますのでお知らせします。

記

1. 開催日時

令和元年12月18日（水）15：00～17：00

2. 開催場所

札幌第1合同庁舎 10階 共用第一・第二会議室（札幌市北区北8条西2丁目1-1）

3. 議事

別紙1のとおり

4. 委員

別紙2のとおり

5. 取材

- ・会議は非公開で行います。会議冒頭のみカメラ撮り可能です。
- ・資料及び議事要旨は、後日、北海道開発局ホームページに掲載いたします。
- ・検討会終了後、委員長への取材時間を設ける予定です。

^{*}気候シミュレーションにより作成された数千年分の気候データを活用することにより、災害につながる低頻度の自然現象の発生頻度を議論することが可能となります。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 電話（代表）011-709-2311

建設部 河川計画課 河川計画管理官 武田 淳史 （内線 5288）

流域治水専門官 岩井 真央 （内線 5297）

企画係長 橋本 慎一 （内線 5327）

北海道開発局ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/>



北海道地方における気候変動を踏まえた 治水対策技術検討会（第2回）

議 事 次 第

日時：令和元年12月18日（水）
15：00～17：00
場所：札幌第1合同庁舎 10階
共用第一・第二会議室

1. 開 会
2. 委員長挨拶
3. 議 事
 - （1）十勝川における気候変動を踏まえた適応策について
 - （2）常呂川における気候変動を踏まえたリスク評価について
 - （3）その他
4. 閉 会

北海道地方における気候変動を踏まえた治水対策技術検討会

委員

- 泉 典洋 北海道大学大学院工学研究院教授
- 加藤 孝明 東京大学生産技術研究所教授 社会科学研究所特任教授
- 志賀 永一 帯広畜産大学環境農学研究部門教授
- 清水 康行 北海道大学大学院工学研究院教授
- 瀬尾 英生 北海道経済連合会専務理事
- 関 克己 京都大学経営管理大学院客員教授
- 中北 英一 京都大学防災研究所教授
- ◎中津川 誠 室蘭工業大学大学院工学研究科教授
- 服部 敦 国土技術政策総合研究所水防災システム研究官
- 平井 康幸 寒地土木研究所水圏グループ長
- 山田 朋人 北海道大学大学院工学研究院准教授
- 渡邊 康玄 北見工業大学副学長 地域未来デザイン工学科教授

◎委員長
(敬称略、五十音順)